

第2回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

- 1 日 時 令和2年9月28日（月）10時00分～11時10分
- 2 場 所 入間市役所 5階 第2委員会室
- 3 出席者 委員長 副市長 友山宏一
委 員 鳥山政之、高山勇、宮岡実、福島和弘、小林由利、松下和英
所管課 スポーツ推進課長 宮元良知、主幹 今井文香
事務局 企画部次長 浅見嘉之、企画課長 栗原康友、主幹 竹内一洋、
副主幹 齋藤謙次郎、主事 櫻木美智

4 欠席者 なし

5 対象施設 入間市地区体育施設等

6 議 事

議 題

(1) 応募者によるプレゼンテーション

プレゼンに先立ち事務局から、次の説明を行った。

応募法人の資格要件のうち暴力団関係者の有無について、事務局において県警に照会したところ、応募のあった法人について、「該当は無い」との回答を得ている。

プレゼンについて、1法人あたり50分とする。時間配分は、プレゼン25分、質疑応答25分とする。仮にプレゼンが20分で終了した場合には、質疑応答を5分増やし、30分とする。質疑応答が早く終了した場合、50分に達していなくてもその時点で終了とする。

採点等については、5～1点の5段階で採点を行い、審査票は、10月7日までに企画課へ提出願いたい。

① 公益財団法人 入間市振興公社

応募書類を基に入間市地区体育施設等に関する提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委 員：新型コロナウイルスの感染予防で定例業務以外の作業が大変増えていると思うが、今の人員で今後も対応する予定か。また、最近施設を利用した際に、個人利用者の予約のために窓口が大変混雑している状況があり、窓口で対応している委託業者の管理人も大変疲弊していた様子が気になった。

応募者：設備の消毒作業等、日常の業務は確かに増えている。しかし増えている業務については予め委託業者と調整をした上で、今の体制で可能な範囲で行っている。今

後も運営状況を適正に把握しながら、必要に応じた対応をしてきたい。

委員：利用者アンケートを行った際に利用者満足度で非常に高い評価を得ているとのことであり、日頃から施設運営に努力いただいていることと思われる。その中でさらなる努力が必要な項目があったとのことであるが、具体的な内容とどのように改善していくのかをお聞かせいただきたい。

応募者：改善点については、市が行った第三者評価において情報提供に対する評価が低かった。その点についてはインターネット等を使用して情報提供を行っているが、第三者評価においてはインターネットに不慣れな方について配慮するよう助言をいただいた。そこで、施設の概要や利用方法等を記載したパンフレットを作成し、施設に来館した際に配布を行いたいと考えている。

委員：ボランティアについて、どれくらいの人数が登録されているのか。また、ボランティアの参画意欲をどのように高めていこうと考えているのか教えていただきたい。

応募者：ボランティアについては、最初に令和2年2月19日に説明会を実施し募集を開始した。その際説明会に参加されたのは2名であり、そのうちの1名がボランティアとして登録していただいた。4月中旬に2回目の説明会の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。終息するまでは募集や活動の予定はない。活動内容としては事業の講師や運営の補助を想定している。ボランティアの方に事業内容の提案等をしていただき、地区住民の参画を通して、地域の特徴を盛り込みながら事業を行いたい。

委員：「利用者サービスの向上」について、委託業者への窓口等対応の指導はどのように行っているのか。

応募者：委託業者とは年2回合同会議を行っており、その際に接遇について説明を行っている。各施設に接遇マニュアルを設置し、管理人がいつでも閲覧できる状態にしてある。

また、改善計画を策定し、接遇に関する研修を実施している。その結果利用者アンケートにおいても良い評価が得られているため、今後も引き続き会議等を通じて接遇について指導していきたい。

委員：収支計画書について委託料が今までと比べ600万円程増えているが、その理由を教えていただきたい。

応募者：ここ数年、最低賃金が上昇しているため、人的配置を伴う委託料が上昇していることから、今回の提案では委託料について増額した。

委員：今までよりも施設に配置する人員を増やさなければならないということか。

応募者：人員については今まで通り1名である。あくまでも今回の増額は最低賃金が上がったことによるものである。

委員：5年前の第1期の指定管理選定委員会で収支計画書を提案された際、人件費について計上がされていなかった。これについては他の施設より人員を借りたため人件費が計上されなかったということよろしいか。

応募者：前回人件費を計上せず今回から人件費を計上した理由としては、先ほどご説明した通り、最低賃金の上昇が挙げられる。また、募集要項等を見ると調整や連携が必要な事項が多く見られ、さらに新たな業務も追加されており、これらに対応するために統括管理者の業務も増えることが予想されることから、今回の提案については人件費を計上した。

委員：「管理に関する経費の削減に向けた考え方」として、時差出勤・休日出勤の振替対応などの労務管理を行っているが、現状時間外や休日出勤はどの程度行われているのか。例えば、既に休日出勤を行ってしまった場合、振替対応ではなく割増賃金を支払う必要がある。予め休日出勤をすることが分かっている場合に、振替をしていただくという対応を行っていただきたい。また事業計画書に記載のある利用者アンケートの結果について、平成28年度の結果と令和元年度の結果を比べると、「良い」の回答が減っており、「悪い」の回答については変わっていない。今までの業務に追加して、利用者アンケートで「良い」の回答が増えるように、利用者サービス等の提供をしていただくようお願いしたい。

応募者：休日出勤については事前に把握している場合が多いので、振替で対応を行っている。

委員：今まで以上にサービスの向上に取り組むとの話があったが、実際にどのような取り組みをして、利用促進を行う予定かを教えていただきたい。また事業計画書の提案内容として、「常設のご意見箱を設置」とあるが、これまで指定管理を行ってきた中で、どのような意見や苦情等があったかを教えていただきたい。

応募者：利用促進については、公社では今までも自主事業を行い利用者の増加を目指している。東金子・黒須・宮寺の地区体育施設については、日中の稼働率が50パーセント前後となっているので、地区住民が参加できるスポーツ教室や、夏休みの施設開放事業を開催するなど工夫したい。また一時的な利用ではなく、定期的な利用者を増やすことも重要だと考えるので、親切な接遇はもちろんのこと施設や設備の改修も行い、利用しやすい施設づくりをしていく。

意見や苦情等については、施設が老朽化していることに対していただくことがあ

る。意見等をいただいた際には指定管理者として行える範囲で迅速に修繕を行い、安心安全な施設管理に努めている。また接遇についても意見をいただくこともあるので、引き続き研修等を行い、改善を図っていききたい。

委員：障害者の利用について、事業計画書に「障害者や外国人などが使いやすい施設を目指します」とあるが、障害者の方々がスポーツに参加できるような事業を行う予定はあるか、考えをお聞かせいただきたい。

応募者：障害者の方が利用しやすい施設となるためには、障害者スポーツの普及・推進が重要であると考えている。現在、行っている事業としては、障害者競技の一つである「フライングディスク」が挙げられる。市の健康福祉センターや福祉施設等と連携し、今後も障害者の方々に事業への参加を促したい。またルール等に配慮をすれば、障害の有無に関わらず誰でもプレーすることができると思うため、関係機関の協力を得ながら共に楽しめる、あるいは教え合えることで、利用者の障害者スポーツへの理解を深めたい。

委員：平成28年度から指定管理者について施設の運営を行っていただいているが、現状の評価と反省点について聞かせていただきたい。また入間市振興公社として、他の団体と比べて優れている点があれば教えてほしい。

応募者：サービスの成果としては、利用者から要望が多かったアリーナの床、暗幕の修繕を全ての施設で行った。施設の空き状況についてもホームページ上で公開し、利用者からは好評を得ているということが成果として挙げられる。事業面についても姿勢改善教室等の参加者が増えており、利用者アンケートでも高評価を得ている。

課題としては接遇に関して利用者から苦情をいただくことがあったため、接遇改善計画を作成し実行してきた。今後もより良い評価がいただけるように、随時改善を行っていききたい。

また、「地区体育施設等を管理・運営する」ということについては、「コミュニティの醸成」という入間市振興公社の目標と合致している。体育施設と地区体育施設を同じグループとして管理することにより効率的・効果的な事業運営が可能となるということが、他の団体では見られない、優れている点であると自負している。

事務局：以上で質疑応答を終了とさせていただきます。

(2) スポーツ推進課からの意見・感想

委員長：所管課として意見、感想があればお願いしたい。

所管課：入間市振興公社は、市の体育施設についても平成18年度以降、指定管理を受託しており、長年に渡り多数の市内体育施設の管理運営に精通した実績と評価があり、安定感や信頼性の高い法人である。

入間市地区体育施設等の指定管理第1期について、所管課の評価としては、当時の指定管理者の選定の際、市との密接な連携体制や各地区体育施設等運営委員会との連携、安定した管理運営、誰でも気軽に参加できる各種スポーツ教室の提案、地域特性を生かした事業等への期待を選定理由として挙げていたが、いずれも一定の評価ができる運営となっている。今回の提案内容に関して、所管課の感想としては、長年の運営実績と地区体育施設等運営委員会との良好な関係性を踏まえ、さらに推進しようという姿勢が見えた。

一方、スポーツ活動に馴染みの無い地区住民に活動を促す提案がやや弱いように感じられた。多様な媒体での広報を行うとのことであったが、活動への意欲を高めるには、さらに施設に常駐する管理人や振興公社職員、運営委員等の人を介した案内が必要と思われる。

第2期目となる今回の指定管理者募集では、地域の関係団体及び機関とのさらなる協働により、地区の生涯スポーツの拠点であるとともに、スポーツを通じた地域の課題解決の場、あらゆる世代の交流の場として、多くの地区住民にとって大切な施設となるような取り組みを期待する。

それらを踏まえ、第2期の指定管理者として、入間市振興公社がふさわしいかどうか、委員の皆様の厳正な審査をお願いしたい。

7 その他

審査票の提出と次回の日程について

10月7日（水）までに審査票を企画課に提出していただきたい。次回は10月15日（木）に開催予定である。

以上